

FUJIMI TODAY

vol.45

2017.4.1 ~ 2017.9.30

2017年12月発行

特集

株主様アンケートのご報告とご質問

技術を磨き、心をつなぐ

FUJIMI

証券コード 5384



お客様目線の実践

「働きがい」と「働きやすさ」の醸成
パウダー&サーフェスカンパニーへの進化
革新への挑戦

技術を磨き、心をつなぐ

私たちの「磨く技術」は半導体をはじめとした
さまざまな産業で活かされています。
フジミはお客様にあらゆる製品を
磨いていただくことで、
人々が快適に暮らせる未来の創造に
貢献します。

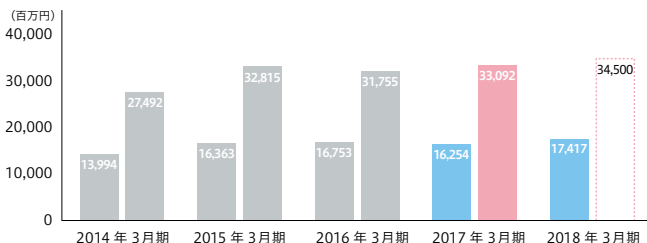
代表取締役社長

関 敬史



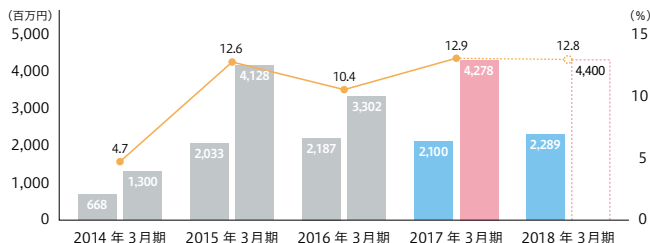
連結決算ハイライト

■売上高



※2018年3月期通期予想値

■営業利益・営業利益率



株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

》 上期を振り返って

当社グループを取り巻く環境は、世界各国において政治、政策面での先行き不透明感が残っているものの、米国経済は景気回復が持続し、日本、欧州経済は力強さを欠くものの緩やかな景気回復に向かい、中国では景気持ち直しの動きがみられました。また、世界半導体市場は、ロジックデバイス、メモリデバイスともに堅調な需要に支えられ、好調に推移しました。

こうした状況下、当社グループでは一丸となって売上拡大とコスト削減に努めました結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高17,417百万円（前年同期比7.2%増）、営業利益2,289百万円（前年同期比9.0%増）、経常利益2,250百万円（前年同期比3.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,647百万円（前年同期比3.7%減）となりました。

トピックスとしまして、お客様との関係では10月に大手半導体シリコンウェハーマーカートの1社であるドイツのシルトロニック社より2016年度サプライヤーアワードを受賞しました。今回の受

賞は当社のイノベーション*活動と開発力が認められたもので、当社の経営方針の一つであるお客様目線の実践が評価された結果であると実感しております。

また、コーポレートガバナンスの面では6月に社外取締役を1名増員し、2名としました。取締役会の監督機能を強化するとともに取締役会全体として受託者責任を果たせるよう、一層努めてまいります。

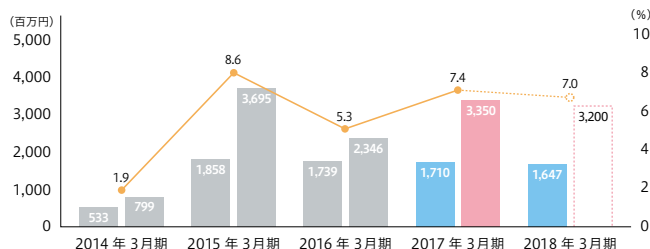
》 成長に向けた取り組み

成長に向けた取り組みとして既存分野の深堀、新規分野への展開並びに当社コア技術の強化と新技術の獲得を推進しております。その活動の一環として、当社にとって新しい分野の展示会への出展、学会や講演会での研磨技術・溶射技術の発表を行っております。これら活動の結果、さまざまな業界のお客様からご相談をいただくことが多くなりました。また、大学や公的な研究機関との共同開発についても進めております。

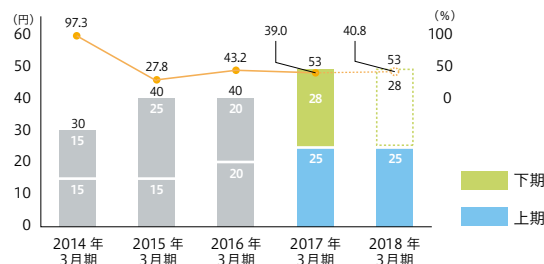
皆様のご厚情に感謝するとともに、これまでと変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

* **イノベーション** 画期的な新技術や新しい価値を生み出すこと。

■ 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益・ROE 折れ線グラフ: ROE(右軸)



■ 配当金・連結配当性向 折れ線グラフ: 連結配当性向(右軸)



特集

株主様アンケートのご報告とご質問

前号の株主通信のアンケートにも大勢の株主様からたくさんのお声を頂戴しました。

ご回答いただきました株主の皆様におかれましては、お忙しい中ご協力をくださりまして、誠にありがとうございました。当社は開かれた企業であり続けるために、株主様のお声にも誠実でありたいと考えております。

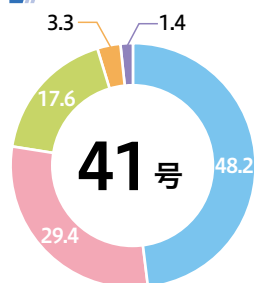
今号では、株主様にアンケート結果のご報告をするともに株主様からのご質問についてお答え致します。

※株主通信は当社ホームページよりご覧いただけます <http://www.fujimiinc.co.jp/ir/library/report.html>

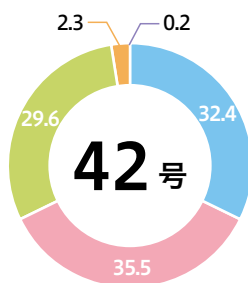
	41号	42号	43号	44号
調査対象	7,029	7,248	7,354	6,745
回答数	2,659	2,888	3,073	2,513
回答率	37.8%	39.8%	41.8%	37.3%

調査方法：ハガキによる調査

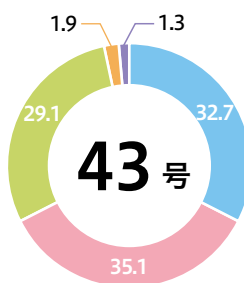
特集に関する満足度調査結果(41号～43号より)



先端技術研究所について



フジミの製品が
使用されるシーン



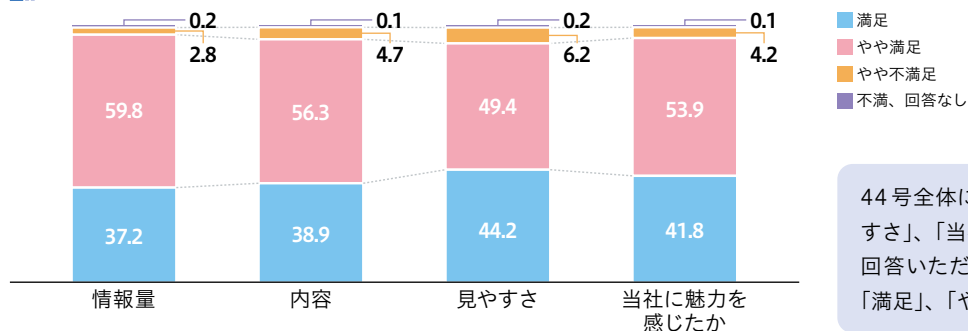
新中長期経営計画
トップインタビュー

- 満足
- やや満足
- 普通
- やや不満足
- 不満、回答なし

「満足」、「やや満足」の合計が7割と評価いただきました。

※ 44号は特集に関する調査ではなく、株主通信44号全体の満足度を調査しております。結果は次ページに記載しております。

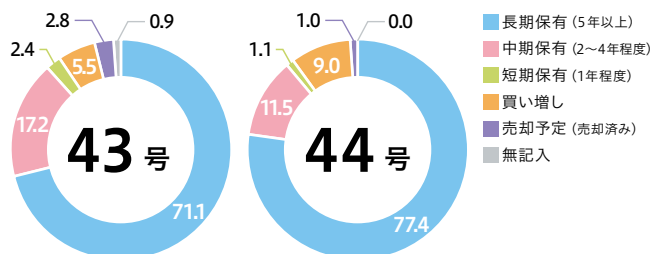
株主通信44号に関する満足度調査結果



44号全体について、「情報量」、「内容」、「見やすさ」、「当社に魅力を感じたか」の観点よりご回答いただいた結果、9割以上の株主様から「満足」、「やや満足」と評価いただきました。

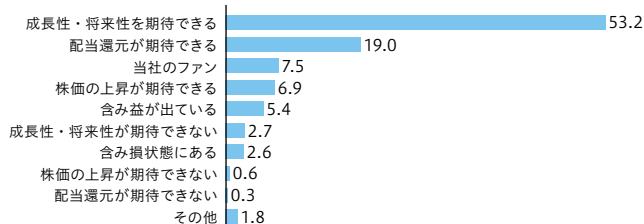
当社株式の今後の保有方針（43号と44号より）

前回に比べ長期保有を方針とする方が増えております。



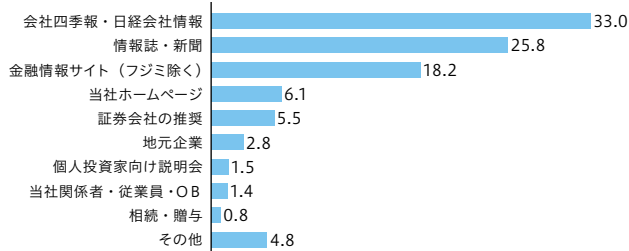
当社株式の保有方針を選択した理由（44号より）

「成長性・将来性を期待できる」、「配当還元が期待できる」が合計で7割を超えており、当社に対する期待の高さがうかがえます。



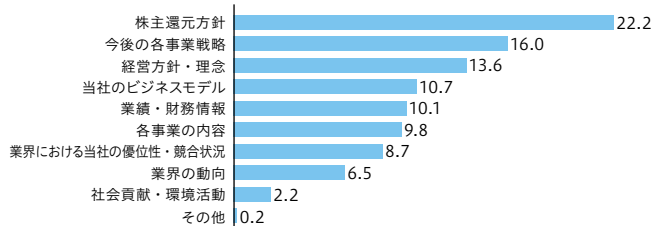
当社株式を購入されたきっかけ（44号より）

企業情報誌や投資情報誌がきっかけという方が合計で58.8%を占めております。



当社に関してもっとお知りになりたい情報は何ですか？（44号より）

多くの株主様が株主還元方針をもっとお知りになりたいとされました。IR活動を通じて積極的な情報発信に努めてまいります。



質問 1 製品はどのような所で使われていますか？



当社製品の主な使用例として、研磨材は身の回りにあるパソコンやスマートフォンなどに搭載されている電子部品、デジタルカメラ、眼鏡のレンズや自動車等の駆動系部品の製造工程等で使われています。また、金属などの物質表面をコーティングする溶射材は航空機部品の製造工程等で使用されています。

左図は、当社製品の用途と最終製品までのつながりを表しております。当社製品は実際に一般の方々が直接目に触れることはありませんが、幅広い分野で皆様方の生活に関わっております。

質問 2 最近の新規分野に関する取り組みを教えてください



航空機エンジンイメージ図
出典: GE Reports

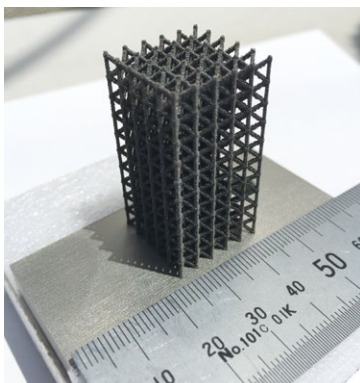


炭化ケイ素(研磨材)

中長期経営計画では研磨以外の分野である粉（パウダー）や表面（サーフェス）分野において事業領域を拡大していきたいと考えております。最近の取り組みについて二つご紹介致します。

一つは、京都大学エネルギー理工学研究所の檜木達也准教授と共同で次世代航空機エンジン用セラミック複合材料の開発に取り組んでおります。世界の航空機市場は今後 20 年間で約 2 倍に成長すると見込まれる中、航空機エンジンは航続距離を長くすることを目標に、航空機エンジンの「軽量化」・「省エネルギー化」・「低コスト化」が望まれております。当社が取り組んでいるセラミック複合材料には耐熱性があり金属

***1 炭化ケイ素** 炭素とケイ素の化合物。硬度、耐熱性、化学的安定性に優れていることから研磨材や耐火物などに使われており、近年ではファインセラミックス及び半導体の材料としても使用されています。



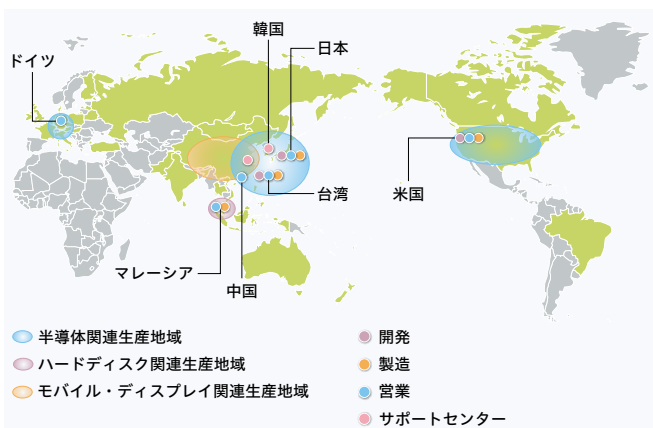
金属3Dプリンターで製作した超硬造形物 当社材料を使用した金属3Dプリンターによる金型



よりも軽く、既に当社製品としても用いられている炭化ケイ素^{*1}を主材料としており、これらのニーズに対応できると考えております。

もう一つは、金属3Dプリンターを活用した積層造形技術に関する研究を大阪産業技術研究所及び知の拠点あいち^{*2}にて行っております。金属3Dプリンターで製作した構造物の軽量化や高い形状自由度を持ち成形後の精度、機械的特性に優れた金型の短納期開発^{*3}を目標に取り組んでおります。

質問3 海外展開について教えてください



当社が海外進出する際に重視していることは、お客様に最高の品質を提供するため、お客様の利便性を最優先に考えたエリアに拠点を構え、お客様との緊密な連携を実現することです。

現在、当社は世界7カ国（日本、米国、台湾、マレーシア、ドイツ、中国、韓国）に拠点があります。いずれも当社事業に関連する産業の集積地域にあり、今後のグローバル展開を推し進めていく上でも重要な役割を担っています。



研究開発センター(日本)



FUJIMI CORPORATION(米国)



FUJIMI-MICRO TECHNOLOGY SDN. BHD.(マレーシア)

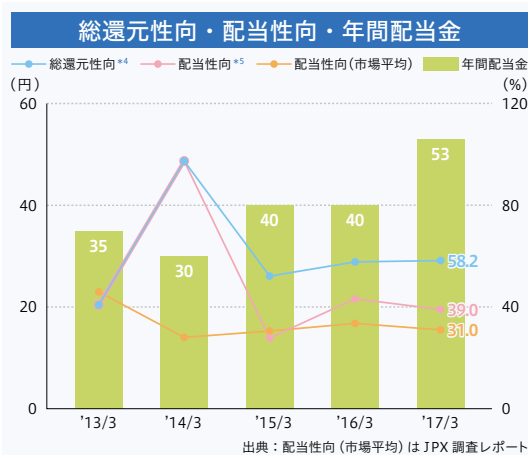


FUJIMI TAIWAN LIMITED(台湾)

^{*2} 知の拠点あいち 付加価値の高いモノづくりを支援するため、愛知県が愛・地球博会場跡地において整備を進めている研究開発拠点。

^{*3} 詳細につきましては、知の拠点あいちの重点研究プロジェクトII期リンクの⑨革新的金型製造技術の開発とその産業応用をご参照ください。
<http://www.astf-kha.jp/project/>

質問 4 株主還元方針について



当社は、株主様に対する適正な利益還元を行うことを経営の重要課題と認識し、経営にあたってまいりました。配当につきましては、2019年3月期を目途に50%以上の連結配当性向とすることを目標として、業績に応じた積極的な株主還元を実施するとともに安定配当の継続にも留意し配当を行うことを基本方針としております。

また、一部の株主様より株主優待制度の導入を期待するお声も頂いておりますが、現在のところ利益還元は配当を中心に考えております。ご理解を賜りたく存じます。

「株主様工場見学会」のご報告

当社へのご理解をより一層深めていただくため、「株主様工場見学会」を10月13日(金)に開催しました。当日の様子について、ご報告致します。

当日のスケジュール

1. 会社説明・工場説明
2. 工場見学



各務原工場

所在地 〒504-0927
岐阜県各務原市上戸町7-1-8
従業員数 219名
主な生産品 FO、GLANZOX、PLANERLITE、
COMPOL、DISKLITE 等

開催概要

日時 2017年10月13日(金)
見学場所 各務原工場(岐阜県各務原市)
来場者 44名
条件 2017年3月31日現在、当社株を100株以上ご所有の株主様より抽選
※定時株主総会招集通知で募集

会社説明



工場説明



会社紹介のあと、国内主力生産工場である各務原工場の概要について説明致しました。

株主様からは熱心に質問が飛び交っていました。

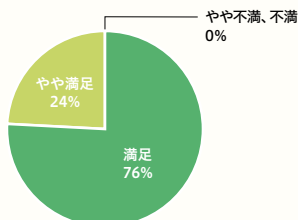
工場見学



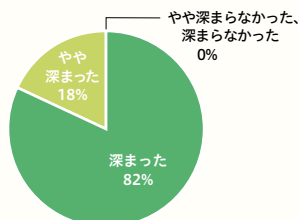
当社主要製品であるFOやGLANZOXなどの製品製造ラインや、検査装置などをご見学いただきました。各工程では、実際に作業を行う現場の従業員が詳細を説明致しました。

工場見学会後のアンケート集計結果のご報告

工場見学会は満足のものでしたか？



当社の事業内容について理解が深まりましたか？



ご参加いただきました株主様からのご意見・ご感想

- 品質管理体制等を確認し、お客様の信頼をいかに大切にしているかが理解できました。
- 分級*6の仕組みや工程を含め、詳細な説明をしてもらい、貴社の事業内容を理解できました。
- 検査業務の自動化を検討してみたいかがでしょうか。
- 各務原工場以外の工場見学会も実施してほしいです。

株主様から直接ご意見を伺う貴重な機会となりました。引き続きIR活動のさらなる充実に努めてまいります。

*6 分級 種々の粒径が混ざった砥粒から、規格を満たす一定の粒径分布を持つものを得るための操作。

用途別の動き

シリコンウェハー用

売上構成比

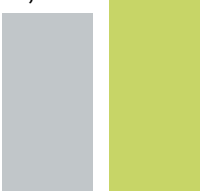
29.4%

半導体市場好調の影響により、ラッピング材の売上高は1,735百万円（前年同期比8.4%増）、ポリシング材の売上高は3,392百万円（前年同期比9.8%増）となりました。

パソコンやスマートフォンなどの電子・IT関連機器に搭載されている半導体シリコンウェハーを高精度に平坦化・鏡面化する研磨工程で用いられる研磨材を製造販売する事業です。

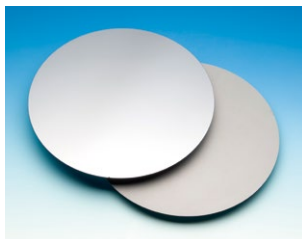
■売上高（単位：百万円）

4,689 5,127



9.4%
UP

2017 年
3月期上期 2018 年
3月期上期



シリコンウェハー



ラッピング材の主力製品 FO

CMP用

売上構成比

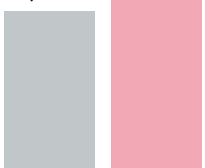
41.3%

半導体市場の好調を背景に、ロジック、メモリともに最先端デバイス向け製品需要が増加したことにより、売上高は7,200百万円（前年同期比24.5%増）となりました。

半導体デバイスの製造工程で用いられる研磨材を製造販売する事業です。

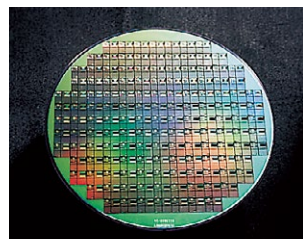
■売上高（単位：百万円）

5,781 7,200



24.5%
UP

2017 年
3月期上期 2018 年
3月期上期



デバイスウェハー



CMP用の主力製品 PLANERLITE

ハードディスク用

9.9%

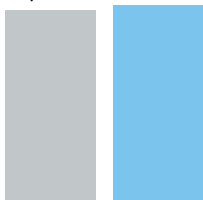
売上構成比

売上高は1,719百万円（前年同期比 2.5%増）となりました。

パソコンやHDD搭載型TV、データ保管をするサーバーの記憶装置に搭載されているハードディスク用基板の製造工程で用いられる研磨材を製造販売する事業です。

■売上高（単位：百万円）

1,676 1,719



2.5%
UP

2017 年 3月期上期 2018 年 3月期上期



サーバー



ハードディスク用の主力製品 DISKLITE

一般工業用・その他

19.3%

売上構成比

非半導体関連の一般工業用研磨材につきましては、最終製品の製造プロセス変更の影響等により、売上高は2,116百万円（前年同期比25.8%減）となりました。その他につきましては、1,253百万円（前年同期比0.3%減）となりました。

多種多様な用途向けに研磨材や材料を提供しております。また、鉄鋼、航空機及び半導体などさまざまな業界の溶射用途向けに溶射材を提供しております。

■売上高（単位：百万円）

4,106 3,369



17.9%
DOWN

2017 年 3月期上期 2018 年 3月期上期



航空機



溶射材の主力製品 SURPREX

連結財務諸表

連結損益計算書

	前第2四半期 連結累計期間 (自2016年4月1日 至2016年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)
売上高	16,254	17,417
売上原価	9,595	10,384
売上総利益	6,658	7,033
販売費及び一般管理費	4,557	4,743
営業利益	2,100	2,289
営業外収益		
受取利息	11	20
その他	107	42
営業外収益合計	118	62
営業外費用	47	101
経常利益	2,171	2,250
特別損失	18	-
税金等調整前四半期純利益	2,152	2,250
法人税、住民税及び事業税	527	610
法人税等調整額	△84	△7
四半期純利益	1,710	1,647
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,710	1,647

売上高

世界半導体市場は、ロジックデバイス、メモリデバイスともに堅調な需要に支えられ、シリコンウェハー向け及びCMP向け製品の販売が好調に推移しました。一方で非半導体関連の一般工業用研磨材が最終製品の製造プロセス変更の影響等で減収になり、その結果、売上高は前年同期比7.2%増の17,417百万円となりました。

営業利益

売上拡大とコスト削減に努めた結果、前年同期比9.0%増の2,289百万円となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益

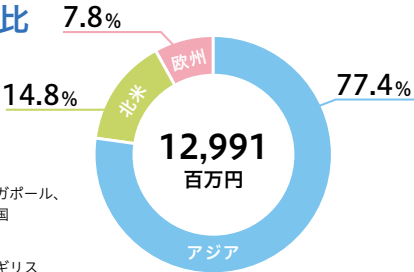
法人税等が増加したことから前年同期比3.7%減の1,647百万円となりました。

海外売上高構成比

(第2四半期連結累計期間)

※各区分に属する地域の
主な内訳は次のとおりです。

- アジア：台湾、ベトナム、シンガポール、マレーシア、韓国、中国
- 北 米：米国、カナダ
- 欧 州：ドイツ、イタリア、イギリス



海外売上高

	前第2四半期 連結累計期間 (自2016年4月1日 至2016年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)
海外売上高	12,023	12,991
(連結売上高)	16,254	17,417
連結売上高に占める割合	74.0%	74.6%

(単位：百万円)

(単位：百万円)

連結貸借対照表

前第2四半期
連結会計期間
(2016年9月30日)

当第2四半期
連結会計期間
(2017年9月30日)

資産の部

流動資産

現金及び預金	22,273	24,310
受取手形及び売掛金	7,252	7,935
有価証券	500	500
たな卸資産	5,197	5,902
繰延税金資産	478	575
その他	247	430
貸倒引当金	△12	△19
流動資産合計	35,937	39,636

固定資産

有形固定資産

建物及び構築物（純額）	7,060	7,756
その他（純額）	5,982	6,334
有形固定資産合計	13,042	14,091
無形固定資産	594	459
投資その他の資産		
投資有価証券	559	691
繰延税金資産	177	87
その他	109	145
貸倒引当金	△9	△9
投資その他の資産合計	838	915
固定資産合計	14,475	15,467
資産合計	50,413	55,103

(単位：百万円)

前第2四半期
連結会計期間
(2016年9月30日)

当第2四半期
連結会計期間
(2017年9月30日)

負債の部

流動負債

支払手形及び買掛金	3,013	3,549
未払法人税等	484	431
賞与引当金	872	911
役員賞与引当金	38	41
その他	1,516	2,116
流動負債合計	5,925	7,050

固定負債

繰延税金負債	6	9
退職給付に係る負債	545	607
その他	38	37
固定負債合計	590	653
負債合計	6,515	7,704

純資産の部

株主資本

資本金	4,753	4,753
資本剰余金	5,038	5,038
利益剰余金	39,989	41,970
自己株式	△5,108	△5,108
株主資本合計	44,673	46,653
その他の包括利益累計額	△775	746
純資産合計	43,897	47,399
負債純資産合計	50,413	55,103

(単位：百万円)

営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、前年同期に比べて1,657百万円減少し、1,303百万円の収入となりました。これは主に、仕入債務の増加による資金の増加があったものの、売上債権が増加したこと及び法人税等の支払額が増加したことによる資金の減少があったことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果支出した資金は、1,368百万円となりました（前年同期は638百万円の収入）。これは主に、有形固定資産の取得による支出及び定期預金の預入による支出があったことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果支出した資金は691百万円となりました（前年同期は9百万円の収入）。これは主に、配当金の支払いがあったことによるものです。

配当金及び連結配当性向の推移

当社は、株主に対する適正な利益還元を行うことを経営の重要課題と認識し、配当につきましては2019年3月期を目途に連結配当性向を50%以上とすることを目標として、業績に応じた積極的な株主還元を実施するとともに安定配当の継続にも留意することを基本方針としております。このような方針のもと、中間配当は、1株につき25円とし、年間配当金は1株につき53円とする予定です。

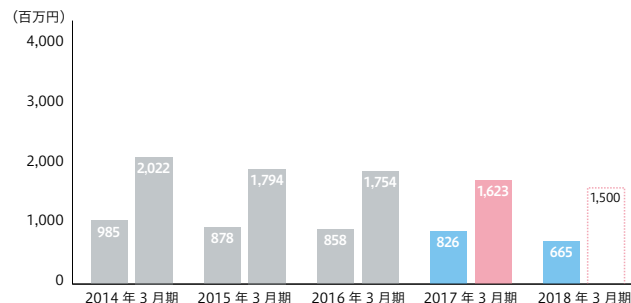
連結キャッシュ・フロー計算書

	前第2四半期 連結累計期間 (自2016年4月1日 至2016年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)
● 営業活動によるキャッシュ・フロー	2,961	1,303
● 投資活動によるキャッシュ・フロー	638	△1,368
● 財務活動によるキャッシュ・フロー	9	△691
現金及び現金同等物に係る換算差額	△656	170
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,952	△585
現金及び現金同等物の期首残高	19,820	24,832
現金及び現金同等物の四半期末残高	22,773	24,246

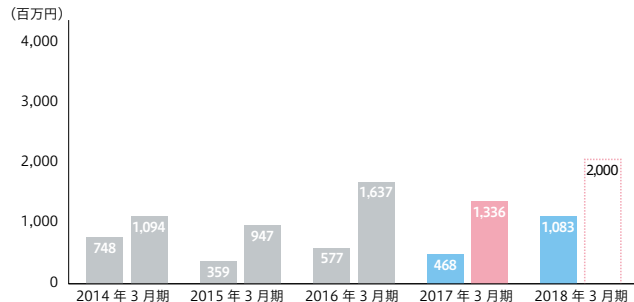
(単位：百万円)

■ 上期 ■ 通期 ○ 通期 ※2018年3月期通期予想値

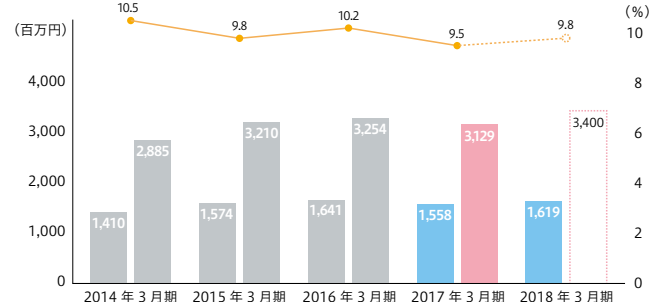
減価償却費



設備投資



研究開発費・売上高比



株式情報 2017 年 9 月 30 日現在

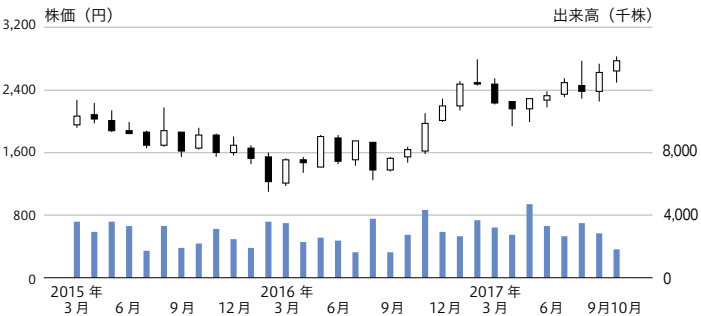
株式の状況

株式数	発行可能株式数	120,000 千株
	発行済株式総数	28,699 千株
	株主数	6,357 名

大株主（株主名）	持株数（千株）	持株比率（%）
株式会社フジインコーポレーテッド	4,051	14.1
有限会社コマ	3,743	13.0
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	1,395	4.8
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	1,201	4.1
BBH(LUX) FOR FIDELITY FUNDS PACIFIC FUND	773	2.6
株式会社三菱東京UFJ 銀行	728	2.5
越山 勇	717	2.4
日本生命保険相互会社	639	2.2
フジミ取引先持株会	620	2.1
一般財団法人越山科学技術振興財団	600	2.0

※持株数は千株未満を切り捨て、持株比率は小数点第 2 以下を切り捨てています。

株価及び出来高の推移

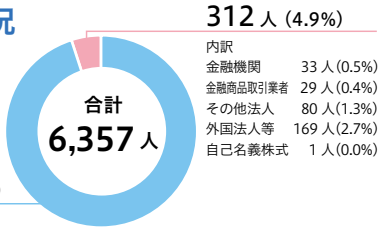


株主分布状況

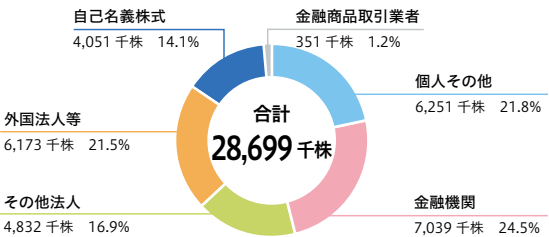
2017 年 9 月 30 日現在

6,045 人 (95.1%)

個人その他



所有者別株主数



所有者別持株数

役員

2017 年
9 月 30 日現在

代表取締役社長	関 敬史
常 務 取 締 役	伊藤 広一
取 締 役	鈴木 彰
取 締 役	大脇 寿樹
取 締 役	鈴木 勝弘
取 締 役	川下 政美 *
取 締 役	浅井 侯序 *
常 勤 監 査 役	藤川 佳明
監 査 役	高橋 正彦 **
監 査 役	岡野 勝 **

(* 印は社外取締役) (** 印は社外監査役)

会社データ

2017 年 9 月 30 日現在

商 号	株式会社フジインコーポレーテッド
証 券 コ ー ド	5384
本 社 所 在 地	愛知県清須市西枇杷島町地領 2-1-1 TEL. 052-503-8181 (代表)
設 立 年 月 日	1953 年 (昭和 28 年) 3 月 20 日
資 本 金	4,753 百万円
代 表 者	代表取締役社長 関 敬史
従 業 員	841 名 (個別 581 名)

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日
配当金受領株主確定日	期末配当金：3月31日 中間配当金：9月30日
単元株式数	100株
定時株主総会	毎年6月
公告方法	電子公告（ http://www.fujimiinc.co.jp ） ただし、事故その他やむを得ない事情によって 電子公告による公告をすることができない場合は、 日本経済新聞に掲載することといたします。
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先 及び照会先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711（通話無料）

各種手続のお申出先

- 支払期間経過後の配当金のお支払いについては、株主名簿管理人にお申出ください。
- 住所変更、単元未満株式の買取、配当金受取方法の指定等
証券会社をご利用の株主様は、お取引の証券会社へお申出ください。
証券会社をご利用でない株主様は、特別口座の口座管理機関である日本証券代行株式会社へお申出ください。

【ご注意】

特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、日本証券代行が口座管理機関となっておりますので、下記特別口座の口座管理人に、お問合わせください。

特別口座管理機関 連絡先	日本証券代行株式会社 〒168-8620 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 日本証券代行株式会社 代理人部 電話 0120-707-843（通話無料）
-----------------	--

株式会社フジミインコーポレーテッド

お問い合わせ先：財務部経営企画課
TEL：052-503-8181（代表）
URL：<http://www.fujimiinc.co.jp>

Copyright (C) 2017 Fujimi Incorporated. All rights reserved.



この印刷物は、環境負荷低減のため古紙パルプを80%使用した環境対応紙と、植物油を使用し、VOCの排出を抑えた環境対応型リサイクルインキ「ベジタブルインキ」を使用しております。